

あわよくば

2 MARK 勝負

産休・育休のアナウンスはマストでは？

最近、「〇〇選手は何で走っていないんですか？」やら「なぜ〇〇選手はあつせんが入ってないんですか？」といった類の問い合わせが寄せられる。マクルール編集部に寄せられるのだから、競走会本部や支局、選手会の広報にも当然あるだろう。ただ、その時の編集部の返答はこう。「分かりかねます。競走会や選手会に問い合わせてください」だ。仮に知っていたとしても、だ。

もちろん、F休みや何らかの内規違反を犯した場合に与えられるペナルティの出場停止についてはお答えする。なぜならリリースされていることだから。知らないファンに伝えることは、メディアとしての大きな役割だ。

では何を答えないのか。それは産休・育休に関してのこと。言い方は悪いが、女子レーサーはしれつと長期欠場に入って、しれつと復帰する。SNSで発表する選手もいるが、しない選手もいる。しない方が多いのではないのかと思う。ファンはそんな選手を何人も目の当たりにしてきたことだろう。そしてこの業界には非常に便利な「家事都合」という欠場理由がある。産休だろうが突如の訃報だろうが、さらに以前はコロナでも「家事都合」で取り扱われてしまったこともあった。これらが全て一緒くたというのは、ファンに

対して説明義務を果たしていないとも言える。ましてやこのSNS社会では、あらぬ憶測や誹謗中傷を招きかねない。

ポートレースはプロスポーツ。ならば他のプロスポーツの場合はどうなのか。野球でもサッカーでも選手本人、もしくは所属チームないし所属団体が発表する。世間へのアナウンスはもちろんのこと、過度な報道の抑制と、ファンに対する注意喚起が含んでのもの。世間一般では、プロスポーツ選手は私人ではなく、公人として扱われるためだ。

業界では2016年、出場などに関する規定を一部改定した。出産で長期欠場した女子レーサーは、あつせんの少ないB2級からの復帰となっていたが、級別はB2級でも、長欠前と同じ級別のあつせんが確保されることになった。職場復帰しやすい環境が整備され、これまでに何人も適用されている。つまり業界は、産休自体を把握していることになる。

先日、唐津で藤崎小百合が約2年ぶりに復帰。倉持莉々は3月に第一子を出産し、中村桃佳も4月に第二子が誕生。復帰に向けて準備を進めている。選手に余計なストレスを与えないため、そして選手の復帰を心待ちにしているファンのためにも、「発表」はしてしかるべきではないだろうか。（渡辺将司）